

差出人: csih@googlegroups.com は 橋本 英樹 <hidekih@wine.plala.or.jp> の代理
送信日時: 2015年7月2日木曜日 21:03
宛先: csih@googlegroups.com
件名: [CSIH] 中部産業遺産研究会 ニュースレター 電子メール版 2015年7月2日発行
添付ファイル: 故佐々木享先生を偲ぶ会呼びかけ.pdf

////////////////////////////////////
/ 中部産業遺産研究会 ニュースレター 電子メール版 2015年7月2日発行 /
/ //////////////////////////////////////
中部産業遺産研究会にご興味のある方に、このメールを是非転送して下さい。

【中部産業遺産研究会の入会案内はこちら】
<http://csih.sakura.ne.jp/nyuukaiannai.html>

【中部産業遺産研究会のホームページはこちらから】
<http://csih.sakura.ne.jp/index.html>

【CONTENTS】

- 【1】 中部産業遺産研究会・関連団体の行事予定
- 【2】 故佐々木享先生を偲ぶ会の呼びかけ
- 【3】 7月12日開催の第135回研究会についてのご案内【再送】
- 【4】 第136回定例研究会・見学会のご案内【再送】
- 【5】 大人の算数・理科シリーズ：モノづくりの原点 第28回／杉本漢三【New】

【1】 中部産業遺産研究会・関連団体の行事予定

- 第135回例会 2015/07/12(日) 13:00～ 産業技術記念館 ホールA
【14:30～ 第1回 さんぎ大学 「産業遺産」とはを開催】
- 第136回例会・見学会 2015/09/27(日) 10:00～ 木曾川文庫、木曾川下流改修工事
関連施設、資料館、周辺施設など予定
- 平成27年度パネル展 2015/11/17(火)～29(日) 名古屋都市センター11階
テーマ「東海の絹・文化と産業遺産」
- 第137回例会・パネル展講演会 2015/11/22(日) 13:00～ 名古屋都市センター11階

【2】 故佐々木享先生を偲ぶ会の呼びかけ【New】

故佐々木享先生を偲ぶ会の呼びかけ
世話人会 横山悦生・森下一期・依田有弘・田中喜美・大橋公雄・沼口博

私たち6名は、2016年5月14日の故佐々木享先生の1周忌の日に、名古屋大学において先生を追悼する「故佐々木享先生を偲ぶ会」を開催するための、世話人会を結成しました。私たちは、この偲ぶ会を実りあるものにするために、実行委員会を立ち上げることを呼びかけます。その日に向けて、追悼集の作成、当日の会の持ち方などを実行委員会で準備していきたいと

考えています。

「偲ぶ会」の構想として次のことを考えています。

1) 2016年5月14日 名古屋大学にて「偲ぶ会」 午後4時～7時(予定)
参加費: 6,000円

2) 追悼集の発行

追悼集の内容については、執筆希望者の意向を集約してから決めます。

費用: 3,000円以上を予定

(執筆の有無にかかわらず、ご協力をお願いします。額については執筆予定調査の結果によっては変更があるかもしれません。)

つきましては、添付ファイルにある通り、お返事を頂きたいと思えます。

詳細は添付ファイルをご参照下さい。

【3】7月12日開催の第135回研究会についてのご案内【New】

中部産業遺産研究会第135回研究会を下記の通り開催致します。

日時 2015年7月12日 日曜日 13:00～

会場 トヨタ産業技術記念館 ホールA

当日は、定例研究会を午後1時～2時に開催致します。

それに引き続き、14:30～ 「第1回さんぎ大学 講話会」を開催致します。

(主催: トヨタ産業技術記念館・共催: 中部産業遺産研究会)

第1回目となる今回は、

「産業遺産」とは

というテーマで開催し、当会副会長の天野武弘先生、トヨタ産業技術記念館副館長の成田年秀様の講話、それに続いて、トヨタ産業技術記念館で発掘された煙突基礎の遺構の見学会も行います。

14:30～のさんぎ大学は、一般の方にも公開される産業技術記念館の行事です。

当日の内容の詳細は添付ファイルをご参照下さい。

また、さんぎ大学の内容については、

<http://www.tcmiit.org/information/2015/06/post-207.html>

をご参照下さい。

研究会、さんぎ大学ともに参加のお申し込みは不要です。ご興味のある方にもご紹介下さい。

【4】第136回定例研究会・見学会のご案内【再送】

第136回定例研究会・見学会を次の通り開催致します。

【ご注意】

1) 参加のお申し込みが必要ですのでご注意下さい。

2) お申し込みは7月12日までにお願いいたします(申込先は下記をご参照下さい)

2) 当日午前6時に名古屋地区に暴風・大雨警報の発令時は中止予定です。

開催日時: 2015年9月27日(日曜日) 10時集合～15時頃解散 雨天決行

集合場所: 近鉄長島駅(南側が出口) 10時

参加費: 500円(入館料、自家用車提供者へ謝礼) 当日受付の時

[内容]

「木曾三川資料館 木曾川文庫見学と河川改修施設・遺構を見る。」

午前：近鉄長島駅より、乗用車乗り合わせにて20分程度の「木曾川文庫」を見学。薩摩藩による宝暦治水工事、デ・レーケ指導の明治改修工事の調査・計画関連資料の説明を受けます。公園内の重要文化財「船頭平閘門」、デ・レーケ像を見学し、木曾三川公園治水タワー

広場にて、昼食（各自持参）と休憩。

午後：薩摩藩の宝暦治水殉職者を祭神とする「治水神社」及び「近代治水百年記念碑」を見学・参拝。同時に明治改修で施工されたケレップ水制工が河川内に見られます。最後に輪中の災害歴史・生活・文化を勉強できる「輪中の郷」へ移動し見学。

15時頃：長島駅に戻り解散します。（尚、輪中の郷は入館料310円が必要となります）

参加希望者は 住所、氏名、自家用車を出すことに協力可能か同乗の区別を明示し下記へ申し込み。自家用車の準備がありますので見学会参加希望者は7月定例研究会当日（7/12）までに連絡をお願いします。

事務局大橋まで E-mail : ohashi05@ai.wakwak.com

前回の電子メール版ニュースレターの添付ファイルもご参照下さい。

【5】大人の算数・理科シリーズ：モノづくりの原点 第28回／杉本漢三【New】

アボガドロ数

我々が日常生活で使う「g；グラム」という質量と周期表の原子量を結びつける鍵となる数が「アボガドロ数」であり、約 6.02×10^{23} （10の23乗）個である。またはこの量を、1モル(mol)ともいう。

原子をアボドガル数だけ集めると、我々が扱いやすい量の質量になるということであり、これは原子量と一致しているということである。酸素原子なら16g、水素原子なら1gであり、水(H2O)の分子なら、18gとなる。ここで気体に換算すると、0°C1atmで1mol=22.4Lである。

最近の自動車の燃料は、ガソリン(液体)のみならず、圧縮天然ガス(CNG)、液化石油ガス(LPG)、水素(H2；燃料電池車)など単位あたりのエネルギー密度(燃費計算)の単位が異なるので難儀する。

因みに、ガソリン(C8H18)は、35,100kJ/L、LPG(C3H8)は50,200kJ/kg、天然ガス(CH4)は41,000kJ/m³である。燃料電池車(FCV)に使う水素(H2)は、10,760kJ/m³である。FCVで使う場合、m³をkg換算した水素で走行できる距離は、約100km/kg-H₂といわれている。水素ステーションで700気圧の水素をどのような販売価格で供給してくれるかであるが、ガソリンより高価格であることは間違いなく、高い走行燃費となるだろう。でも、これが永遠の「エコカー」と国もメーカーも言う。安く走れるのは、CNG車であるが、パイプラインの無い島国日本はマイカーには無理なので生産、販売はしていない。但し、北米、ブラジルには輸出している。



中部産業遺産研究会のニュースレターは電子メールアドレスをお持ちの会員の皆様にGoogle グループのメーリングリストのシステムを使って配信しています。

配信元：中部産業遺産研究会 会報編集委員・広報幹事 橋本 英樹

E-mail : hidekih@wine.plala.or.jp

Copyright 2002-2014 The Chubu Society For The Industrial Heritage, Allrights reserved.



このメールは Google グループのグループ「中部産業遺産研究会」の登録者に送られています。このグループから退会し、グループからのメールの配信を停止するには csih+unsubscribe@googlegroups.com にメールを送信してください。

<http://groups.google.com/group/csih> からこのグループにアクセスしてください。

その他のオプションについては、<https://groups.google.com/d/optout> にアクセスしてください。

故佐々木享先生を偲ぶ会の呼びかけ

世話人会 横山悦生・森下一期・依田有弘・田中喜美・大橋公雄・沼口博

私たち六名は、2016年5月14日の故佐々木享先生の1周忌の日に、名古屋大学において先生を追悼する「故佐々木享先生を偲ぶ会」を開催するための、世話人会を結成しました。私たちは、この偲ぶ会を実りあるものにするために、実行委員会を立ち上げることを呼びかけます。その日に向けて、追悼集の作成、当日の会の持ち方などを実行委員会で準備していきたいと考えています。

「偲ぶ会」の構想として次のことを考えています。

① 2016年5月14日 名古屋大学にて「偲ぶ会」 午後4時～7時（予定）

参加費：6,000円

② 追悼集の発行

追悼集の内容については、執筆希望者の意向を集約してから決めます。

費用：3,000円以上を予定（執筆の有無にかかわらず、ご協力をお願いします。額については執筆予定調査の結果によっては変更があるかもしれません。）

つきましては、以下の点について、お返事をいただきたいと思います。

1. 追悼集に執筆していただけますか。執筆下さる場合、どのような内容の文章を書いていただけますか？

執筆する（以下の選択をお願いします） 執筆しないが入手したい

選択肢 ① 論文（佐々木先生に捧げるといった意味を込めた）

② 追悼文

③ 思い出を語る

（②、③の区別は判然としませんが、どちらにウェイトがかかっているかで選んで下さい）

2. 「偲ぶ会」に

参加する 参加しない

※準備に費用がかかることありますので、事前に送金をお願いする予定ですが、追悼集の費用が固まっていますので、固まり次第ご連絡し、振込口座をお知らせすることといたします。

お名前： _____、住所：〒 _____

電話： _____ E-mail： _____

所属団体他： _____

2015年6月 「故佐々木享先生を偲ぶ会」世話人会

連絡先 横山 悦生 名古屋大学技術教育学研究室 n47131a@nucc.cc.nagoya-u.ac.jp

森下 一期 kazukimori@nifty.com 211-0025 川崎市中原区木月 3-20-41

7月中にご返事を頂きたいと思います。 該当項目（執筆について、偲ぶ会への参加について、お名前：住所：電話：メール：所属団体）をメールで送付いただくか、森下宛この用紙を郵送で送るかして下さい。